

教師用発問サポート資料

1 使用するプリント コク×スク レベル 1-2 様々な情報を関係付けて、結論を出す

2 単元の目標

(1) 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。

〔知識及び技能〕 (2) イ

(2) 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) ウ

3 学習の流れ

【①導入】これまでの学習から、様々な情報を関連付けて考えたことを振り返る。



以前読んだ説明的な文章の中で、筆者は一つの事実やデータだけでなく、複数の事柄をもとに結論を述べていましたね。今日は、さらに発展して、複数の資料から情報を関連付けて考えることができるようになります。

【②展開】個人で問題を解く（15分程度）。その後、全員で答え合わせを行う。

★10分ほどが経過したら、立ち歩いて話し合ったり、わからない部分を話し合ったりするよう助言する。

★考え方がわからない生徒には挙手をさせ、適宜助言を行う。

〈問1 助言の参考〉



ここでは、「あるニュースサイトの記事」をもとに問題の選択肢の言葉と比較して捉えることが必要です。記事と選択肢を比較して、互いに線を引いてみましょう。

アの一九八八年、十八年後（2006年－1988年）というのは、記事の中にある正しい情報ですね。



イの「高い人気」、「巨峰」は記事の中にありましたが、「デラウェア」の話はないですね。



あるニュースサイトの記事

大人気のシャインマスカットは33年かかって育成された！

9月から10月に出荷のピークを迎える黄緑色のシャインマスカット。種なしで皮ごと食べられ、とても甘いため人気は急上昇。いまや巨峰、ピオーネと並ぶ主力品種となっています。

デパートでは、ひと房4,000～5,000円で売られている高級品種。国立研究開発法人の農研機構果樹茶業研究部門が開発したそうです。さっそく広報担当者に話を伺いました。

Q. 開発には何年かかりましたか？

「シャインマスカットが交配されたのは1988年ですが、品種改良を重ねて正式に品種登録したのは2006年でした。また、シャインマスカットの親となる安芸津21号は1973年に交配されました。そこから数えると33年かかっているわけです。

『輝くようなマスカットブドウ』になってほしいという意味を込めて名付けられました」

Q. シャインマスカットの最大の魅力は何ですか？

「生産者にとって作りやすく、消費者にとって味と食べやすさを兼ね備えていることでしょう。特に味の点では、マスカットの香り、種なし、糖度が18度以上と高く酸味が少ない、皮ごと食べられる、といった点が大きな魅力だと思います」

※参考：ウェザーニューズ「大人気のシャインマスカットは33年かかって育成された！」
<https://weathernews.jp/s/topics/201809/120205/>

ア 一九八八年にシャインマスカットが交配され、そこから十八年後に正式な品種登録が行われた。
イ シャインマスカットは消費者からの高い人気を誇り、いまでは巨峰、デラウェアに並ぶ主力品種となった。
ウ 種がなく、皮も食べることができるシャインマスカットは九月から十月に出荷のピークを迎える。
エ 「シャインマスカット」の名前には味と食べやすさを兼ね備えた最高のブドウになってほしいという意味が込められている。



そうですね。そのように一つ一つの情報に注目しながら比較して捉えたり、選択肢アのように「2006年は1988年の18年後だから正しい」と、情報どうしの関係からわかることを捉えたりすることも大切ですね。

〈問2 助言の参考〉



「導くことができる結論」を踏まえ、それぞれの資料からどのような情報が必要か考え、捉えることが重要です。ここでは、「導くことができる結論」のようにまとめるためにはどの情報に着目するとよいかを考える必要があります。

「導くことができる結論」の中の、「生産者の作りやすさ」、「消費者の人気」は「あるニュースサイトの記事」の中に書かれていることですね。

それに、「導くことができる結論」を読むと、巨峰とピオーネは栽培面積が減少傾向、または横ばいということがわかります。そして、「データ1」にはこれと同様のことが書かれています。



【③まとめ】今日学習した内容を振り返る。



今日の学習では、様々な情報を関連付けて結論を出すことを学びました。様々な情報を関連付けるときにはどのようなことをするとよいですか。また、情報をもとに結論を出すときに気をつけることは何ですか。

情報どうしに注目して、線を引いたり印をつけたりするとよいと思います。

結論と事実やデータには必ずつながりがあるので、それらがしっかりつながっているかを考えることが重要だと思います。



様々な情報を関連付けて結論を出すことは、読むことだけでなく、話すことや書くことでも生かすことができます。また、日常の中でも生かせる場面はたくさんあるので、今日学んだことを意識していきましょう。

4 指導のポイント

- 【①導入】では、具体的な文章を提示することも考えられる。
- 【②展開】の問2の場面では、結論と事実やデータとの関係を板書して整理しながら進めることも考えられる。

5 ほかに考えられる使用方法

- 「読むこと」でグラフが用いられた文章を読んだ後に「コク×スク レベル1-2」を単元テストとして使用し、定着度を測るために使用することもできる。その際は、【②展開】だけを取り上げて20分程度の解説の時間を設けるとよい。